

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。

「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 5月26日(月)、日本福音宣教連合会から約8名の役員と先生方が、私たちの教会を訪問されます。当日は、共に主を礼拝し、祈りと交わりの時を持ちます。主にある恵み豊かなひとときとなるよう、皆さまのご参加とお祈りを心よりお願いいたします。そして、よき交わりと祈りの会となりますように、お心を合わせてお迎えしましょう！

- 松島大器兄弟が、昨日警視庁の最終面接を受けられました。これまでの努力が実を結び、主の御心のうちに合格となりますように、共にお祈りください。兄弟の歩みに主の導きと祝福が豊かにありますように。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



「恐れを克服する勇気」I

(ヨシュア記8章1～2節)

1 主はヨシュアに仰せられた。「恐れてはならない。おののいてはならない。兵士すべてを連れて立ち、アイに攻め上れ。見よ。わたしはアイの王とその民、その町、その地をあなたの手に渡した。

2 あなたがエリコとその王にしたように、アイとその王にしろ。ただし、その戦利品と家畜は、あなたがたのものとしてよい。アイの町の裏に伏兵を置け。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー)、高木はつ江(祈禱)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 北原孝子(祈禱)

水曜礼拝 韓芽唯(司会)、北原孝子(祈禱)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈禱会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-20 号

2025.5.18

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00～

賛美リード

柳澄香

信仰告白 (使徒信条)

代表祈禱 北原明子

特別賛美 インマヌエル聖歌隊

お知らせ

聖書箇所 ヨシュア記 8:1-2

メッセージ (恐れを克服する勇気 1) 柳 承吉牧師

賛美 神の家族

祝 禱 柳 承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:20～

賛美リード 柳澄香

代表祈禱 松島スヤンティ

聖書箇所 コロサイ人への手紙 1:18-20

メッセージ (ただイエスのみ 1) 柳 承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00～

司 会 高木はつ江

代表祈禱 松島浩一

聖書箇所 ローマ書 5:14-21

メッセージ 柳 承吉牧師

(ローマ書 5 章の概略-3)

今週の御言葉

恐れを克服する勇気 ① ヨシュア記 8 章 1～2 節

「勇気」とは、他人の目や欲望、恐れから解放され、自分の意志で行動する自由なのです。困難に直面したとき、言い訳したり逃げたりせず、堂々と立ち向かう力、それが勇気です。勇気とは、恐れを「感じない」ことではありません。むしろ、恐れを「感じながらも」それに屈せず、行いうべきことをすることです。勇気ある者は、困難や苦勞、恐れを理由に、正しいことをためらうことはありません。私たちが充実した人生を送るためには、恐れを克服する勇気が不可欠です。失敗の中でも、再び挑戦する心、これがまさに「勇気」なのです。

では、どうすれば信仰者として、成功と幸せを妨げる「恐れ」に打ち勝ち、勇気ある人生を歩むことができるのでしょうか？

神の召命を握ること

「主はヨシュアに仰せられた。『恐れてはならない。おののいてはならない。戦う民全部を連れてアイに攻め上れ。見よ。わたしはアイの王と、その民、その町、その地を、あなたの手に与えた。』」(ヨシュア 8:1)

この言葉の核心は、「恐れるな、立ち上がれ、再び前進せよ」という命令です。恐れに留まらず、神の使命を握りしめて立ち上がりなさいというのです。

恐れのはじめは創世記 3 章において、アダムとエバが罪を犯した後、「私は恐れて、隠れました」(創 3:10)という場面に現れています。罪は、人を神の使命から逃れさせ、恐れに縛るのです。

しかし主は、「恐れてはならない」と語られます。そして再び立ち上がり、アイの町を攻めよと命じられるのです。

恐れは人生を麻痺させるが、勇気はそれを打ち破る

心理学者たちは、恐れが人を受け身にし、自信を失わせ、不安を煽り、自らを台無しにしますと言います。しかし聖書は言います。「神が私たちに与えてくださったのは、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊です。」(Ⅱテモテ 1:7) 私たちは失敗しても、神からの使命を恐れで放棄してはなりません。立ち上がり、与えられたアイを征服しなければなりません。

「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。」(Ⅰヨハネ 4:18) 私たちも神の召命を愛するなら、どんな困難の中でも、恐れを乗り越える勇気が必要なのです。

勇気のスイッチを押さない

歴史の偉人たちは、皆、恐れを超えて立ち上がった人たちです。アブラハムは 75 歳で呼び出され、100 歳にして約束を得ました。モーセは 80 歳で再び神の召しに応えました。エジソンは耳が聞こえなくても発明を続けました。ベートーヴェンは耳が聞こえなくても交響曲を残しました。“失敗とは倒れることではなく、倒れたまま立ち上がらないことである”という諺があります。

「恐れるな。わたしはあなたと共にいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。…」(イザヤ 41:10)

皆さん、あなたの人生にも「アイの町」があるかもしれません。失敗した「仕事のアイ」「家庭のアイ」「教会のアイ」があるかもしれません。でも、恐れの中にとどまらず、神の声に従って立ち上がりましょう。恐れを乗り越え、勇気をもって一歩を踏み出しましょう。神は、共におられます。